

2021 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	一般社団法人 ADI 災害研究所
活動テーマ	障がい児や小さな子どもでもわかる防災教材（地震）の作成



地球温暖化もあり、経験したことのないような大雨が降り、河川の氾濫、土砂災害などの風水害が毎年起こり、南海トラフ地震が30年以内に起こる確率が80%になり、各地で地震も頻繁に起きている印象があります。災害に対して正しい知識を持って、いざというとき自分を守るための行動をとれるように子どもたちにも伝えいく防災教育が重要になっています。

小さな子どもや障がいなどで本を読むことが苦手な子どもにも、楽しく伝えられるような防災教材を作成したいと考え、実際に小さな子どものご家族や障がい児のご家族等からお話も聞いて紙芝居と動画の作成を行うこととしました。内容については、一度に学べる時間と集中を保つため、紙芝居で15枚、動画で15分程度と決め、今年度は、寝ているときに地震が起きたらどうするかをテーマとしました。子どもや障がい児のご家族の意見を聞きながら、なるべく子どもたちにわかりやすいような内容・表現を工夫して、紙芝居を作成しました。また、紙芝居の内容をもとに動画を作成しました。こちらは、メディアでの配布の他、今後SNSなどで公開をする予定です。紙芝居の内容を決める際には、オンライン会議でも障がい児や小さな子どものご家族と紙芝居の内容を検討する際にも、子どもたちも参加してくれたため、地震が起きたらどんな行動をするのか、どう伝えたら子どもたちに伝わるか、話すことができました。子どもたちに地震がおきた時の行動を伝えることで、いざ揺れた時に頭を守る行動をとったというお話も聞くことができました。

今後完成した紙芝居の配布や動画の配信で、さらに多くの子どもたちへ地震が起きた時の行動を知ってもらえることができれば、いざというときに自分の身を守るのではないかと考えています。紙芝居を使って、子どもたちの防災教育を進めていくことが、地域の防災力向上にもつながるのではないかと考えています。